

HEART NET Vol.16

岩見沢市立総合病院 広報誌

2022年2月発行

ホームページ

<http://www.iwamizawa-hospital.jp>



TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

しあわせの時間

- [特集] 院長からのご挨拶・病院統合に向けて(準備室)
- [レポート] 褥瘡対策委員会 / [レポート] アドバンス助産師
- [今回の職場紹介] 臨床工学科
- [クッキング] 健康レシピ / 病院からのお知らせ



写真: デイケア祭の様子

特

Voice

小倉 滋明

[岩見沢市立総合病院 院長]

未来へつなぐ医療の強化と

健康を守る施設であるために

新病院建設



院長 小倉 滋明
ogura shigeaki

昨年7月20日に岩見沢市と独立行政法人労働者健康安全機構は、岩見沢市が令和9年4月を目途に新しく建設する新病院へ岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院を統合することに基本合意いたしました。

この合意は、人口が減少する中で超高齢化がすすむ南空知圏域において、質の高い急性期医療の提供を維持し強化するという目的のもと決定されました。

今後すすむ人口減少によって医療需要の落ち込みは避けられず、現状の体制のままであれば急性期病院の経営は悪化します。また、医療の高度化により様々な職種の人たちをより多く必要とするにもかかわらず若い働き手が大幅に減るため、貴重な医療資源を地域全体で協調して効率よく活用する体制に変わらなければ急性期医療の維持向上が難しくなってきます。このような状況は南空知地域だけではなく、一部の大都市以外の日本の地域社会が迎える未来です。

それを打破するために、岩見沢市が建設する新病院にこれまで市立病院と労災病院が個々で担ってきた救急や急性期医療を一つの新病院に集約し、様々な医療資源を統合して運用することを目指します。それによって、これまで以上に質の高い急性期医療を市民の皆様にも未来にわたって提供し続けることが可能となると思います。

また、医療は急性期医療のみで成り立っているものではなく、日々の生活に密着した地域の医療機関と役割分担したうえで密接に連携し、地域住民の健康で豊かな生活を守るシステムの要の施設になりたいと思います。

また、昨今の地球温暖化により岩見沢市でも真夏はかなり暑い日々が続くようになりました。現在の病院では冷房設備を完備することが建物の構造上不可能でしたが、新病院は環境に配慮しながら冷暖房設備を整え、患者様によりよい療養環境を提供できる建築物となるでしょう。今後の新病院建築計画の進行状況についても、進展をみながらまたご報告いたします。

集

あらゆる角度からの検討を重ね

緻密に計画

事務部新病院建設準備室長
石塚 良寛
ishizuka yoshihiro

岩見沢市立総合病院では、新病院の建設に向けて、令和2年4月に「新病院建設準備室」を設け、北海道中央労災病院との統合に向けた協議や、新病院建設に必要な準備を進めています。

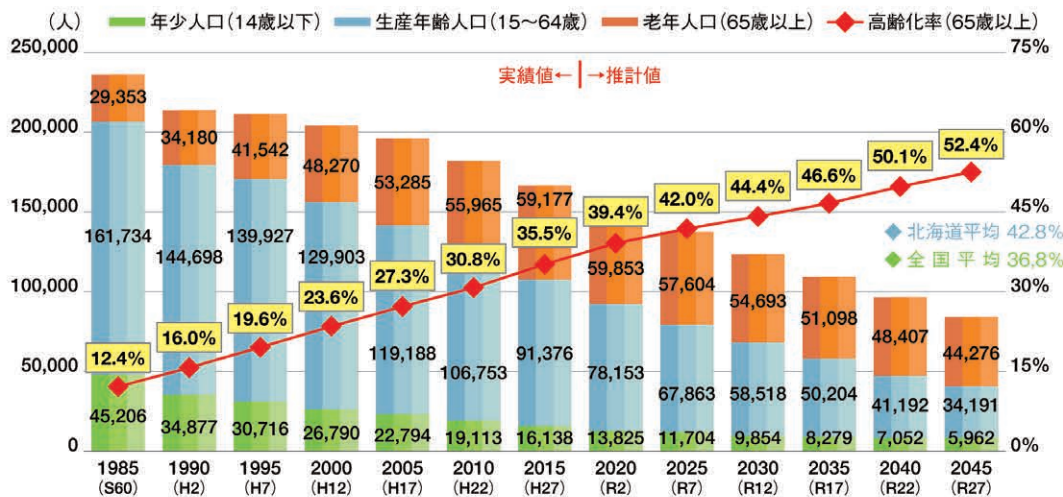
現在は、新病院の基本的なコンセプト(方針)をはじめ、診療機能や病床数、建設予定地、医療機器や情報システムの整備計画などをまとめる「基本計画」の策定に向け取り組んでいます。

新病院の開院までには、「基本計画」を策定した後、「設計」、「建設工事」と段階的に進めていくこととなりますが、「基本計画」は、次の設計段階で図面を描くために必要なハード面の条件(部屋の数や大きさ、配置など)を定める重要なものとなります。そのため、市立総合病院内に検討組織を立ち上げ、北海道中央労災病院や関係機関との協議を行うとともに、病院を利用している患者様やご家族の方などからのご意見も聴きながら、基本計画の策定を進めていきたいと考えております。南空知医療圏における人口は引き続き減少していくことが予測されていますが、両病院の統合によりこれまで以上に質の高い医療が提供できる新病院の建設に向けた取組みを進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

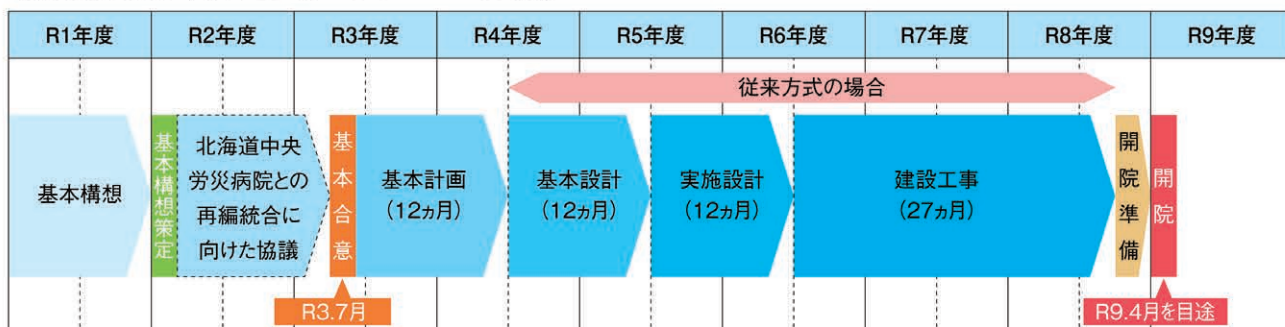
「岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院の統合に係る基本合意書」の主な内容

- 市立総合病院と北海道中央労災病院を統合し、新病院を設置する
- 新病院は岩見沢市が設置・運営する
- 統合までの間、北海道中央労災病院の運営を継続する
- 統合の時期は令和9年4月を目途とし、具体的な時期は両設置者が協議して決める
- 新病院の名称は岩見沢市が決める
- 新病院においても両病院の患者が診療を継続して受けられるよう配慮する
- 北海道中央労災病院の土地、建物などの財産の扱いは両者が協議して決める
- 北海道中央労災病院の職員が新病院での勤務を希望する場合は、原則として採用する
- 統合を円滑に進めるために両者は相互に協力する

南空知医療圏の人口構造の推移



新病院開院に向けた全体スケジュール(予定)



病院統合にむけて

Report

じょくそ

褥瘡対策委員会

看護部 看護師主任

皮膚・排泄ケア認定看護師

小原 菜穂 *obara nao*
 褥瘡とは

一般的にいう床ずれのことです。身体に加わった外力によって、組織の血流が悪くなってできる創傷のことをいいます。褥瘡は、栄養状態の低下や痩せなどの全身的因子、皮膚の脆弱性などの局所因子、マットレスの硬さや看護・介護力などの環境・ケア因子など、さまざまな危険因子が絡み合って発生します。

一般的に、寝たきりの高齢者に発生するイメージがあるかもしれませんが。

しかし、急性期疾患や周術期、終末期の方、新生児にも発生するリスクがあります。

ここ数年で、医療関連機器の圧迫による創傷も、褥瘡と捉えられるようになりました。高齢で、医療関連機器を装着される方も多く、看護師は、日頃から予防ははもちろん、早期発見・対処に努めケアを行っています。

活動

褥瘡対策には、多職種の力が必要です。当院では、多職種で構成される褥瘡対策委員会で、院内で起きている褥瘡に関する問題や対策について検討しています。

各部署には、褥瘡対策リーダーが存在します。

1回／月集まり、勉強会や事例検討を行い、褥瘡対策に関する知識の習得や、褥瘡発生の原因分析、対策について学んでいます。また、各部署で褥瘡対策に関するリーダーとして、活動しています。



褥瘡対策リーダー会：創の評価方法について勉強中



ハイリスクな患者様や褥瘡を有する患者様について、1回／週、カンファレンス、ラウンドを行い、多職種による専門的視点から、処置や栄養面、ポジショニングなど、患者様に必要なケアの実践、指導を行っています。



褥瘡対策は、入院時のスクリーニングから始まります。患者様がもっている危険因子や、褥瘡発生要因、創の状態も一人ひとり異なります。よって、決まった処置やケアではなく、個別性に応じたケアが必要です。

最近の創傷ケア

湿潤療法

しつじゅんりょうほう

昔、創傷は乾燥させた方が早く治るといわれていました。そのため、創部をドライヤーで乾かしたり、日光浴したり、消毒→ガーゼを当てて→乾燥させるという治療法が一般的に行われていました。しかし、湿潤状態の方が早く治るというデータが出始め、現代では、「湿潤療法」が提唱されています。

創部の浸出液には、創傷を治す細胞増殖因子が含まれているので、それを創面に保持することが創傷を治すことにつながるのです。（注：感染を伴う場合や、不良肉芽の場合、湿潤療法が適用しない場合があります。）今は、ワセリンや湿潤環境を保持できる絆創膏も市販されているので、ご家庭でも、湿潤療法に準じたケアを行うことが可能です。

消毒はしない

今は、創傷の消毒はしません。石鹸と、水道水（微温湯）で周囲皮膚を洗います。なぜ消毒をせずに洗うのでしょうか？

理由は、皮膚には常在細菌の他に、一過性細菌が付着しています。それらは、石鹸と水道水（微温湯）で洗い流すことができるためです。

もう一つの理由は、消毒が、創傷を治すために再生しようとしている細胞をダメにしてしまうためです。

特に、開放創である褥瘡は、周囲の皮膚と連続しているため、汗や皮脂、部位によっては排泄物で汚染されています。周囲皮膚を洗浄することは、創傷治癒を促進するため、創傷管理において重要なことなのです。

ちなみに、この時使用する石鹸は、薬用石鹸やベビー石鹸が皮膚に良さそうと思われかもしれませんが、実は、これらは刺激が強く、脱脂力も強いので、創傷周囲皮膚の洗浄には向いていません。弱酸性の石鹸をおすすめします。



Report

助産師は
赤ちゃん&MAMAの
強い味方

看護部 4階西病棟看護師長 中島 由香里
nakashima yukari

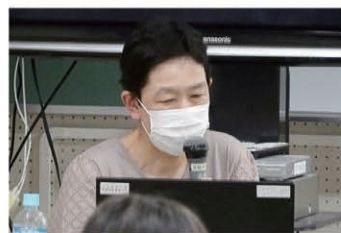
当院では助産師資格を持った助産師が、14名います。そのうちアドバンス助産師を持って働いている助産師が8名います。

アドバンス助産師とは、日本助産評価機構より「自律して産ケアを提供できる助産師」として公表できる資格です。分娩件数100例以上・新生児の健康診査100例以上・産褥期の健康診査200例以上と、e-ラーニングによる研修の受講・学会出席2回以上で申請できます。その要件を満たして試験を受けて合格となったらアドバンス助産師となります。また、5年ごとの更新制で今年は6名が更新申請をして合格しています。

当院においてアドバンス助産師は、日常の妊婦・産婦・褥婦・新生児への看護だけでなく、地域の学校へ「命の授業」や、保健センターの保健師や、北海道大学と連携しての健康調査や、「こころとカラダのライフデザイン(仮称)」に向けての準備を行っています。

また、アドバンス助産師だけでなく、私たち助産師は、いつも赤ちゃんやママの健康を願って、毎日病棟でのケアや、地域との連携を大切に働いています。

現在も「母子健康調査」を岩見沢市・北海道大学・HITACHI・森永乳業と連携して、2500g以下の新生児の出生減少に向けて調査協力をしています。



これから妊婦になる若者の最近の傾向として、10代からの「やせ」のまま妊婦さんになっていくので、そのまま出産して赤ちゃんも体重が2500g以下であったり、育児などに不安を持って気持ちが沈んでしまう褥婦も増えています。2500g以下(小さく産まれる)で生まれると、正常の体重で生まれる赤ちゃんに比べて将来、糖尿病・肥満になる確率が1.5倍から3倍となっています。それは「DOHaD」仮説といって、「貧しい環境(母がやせている・食量難など)で生きられるようにプログラミングされて生まれたのに、十分すぎる栄養を取る生活に移行すると肥満や糖尿病を発症しやすい。」と、言われています。この様なことが少しでも防げるように、地域でも幅を広げて活動しています。そして、何より私たち助産師は「赤ちゃん・ママの強い味方」で有り続けたいと思って毎日がんばって働いています。

高度の医療知識とスキルを兼ね備える
医療機器のスペシャリスト



WORKPLACE INTRODUCTION

今回の職場紹介

臨床工学科の紹介

医療技術部臨床工学科技師長

坂本 哲哉
sakamoto tetsuya

医療技術部臨床工学科は医療機器のスペシャリストとして、医療機器の保守、点検、操作を行う職種です。

院内ではチーム医療を支え市民の皆様が安心して医療を受けられるよう医療機器の管理を行っております。

人工透析や血液浄化、手術室での機器点検操作補助、心臓カテーテル検査補助、ペースメーカー補助、高気圧酸素療法、医療機器管理が主な仕事ですが医療安全や感染対策にも関わり、日々進化する医療技術にも貢献できるよう今後も努力してまいります。

また今年6月より臨床工学科補助員3名が配属され更に仕事への向上心と活躍の場を模索しております。



心臓カテーテル検査



高気圧酸素治療



血液浄化



ME機器管理



手術室業務

COOKING

クッキング

栄養科 管理栄養士
川辺 佑美

健康レシピ ブロッコリーのミモザサラダ



ドレッシングを変えてアレンジ色々 免疫力アップレシピ

材料 4人分 (ドレッシング) (市販のものでも可)

- ブロッコリー 1房 ★ オリーブオイル 大さじ2
- ゆで卵 1個 ★ 酢 大さじ1
- ミノトマト 3個 ★ 塩 少々
- ★ マスタード 小さじ1

OnePoint!

- ① ブロッコリーに多く含まれるビタミンCは白血球の働きを強化し、免疫力を高めます。ブロッコリーにはビタミンCがレモンの2倍含まれます。
- ② ビタミンCは水に弱いため茹でると栄養が半減します。蒸すか電子レンジでの加熱がおすすめです。
- ③ 活性酸素を抑制する抗酸化作用のあるビタミンEも多く含まれ、抵抗力強化にも繋がります。

- #### 作り方
- ① ブロッコリーは小房に分けて大さじ2の水(分量外)をまわしかけ、電子レンジで3~4分温める。
 - ② ゆで卵は黄身はフォークで潰し、白身はみじん切りにする。
 - ③ ★はよく混ぜ合わせておく
 - ④ ブロッコリーの上に白身と黄身をのせ、トマトを飾り、ドレッシングをかける。

自動精算機導入のお知らせ



1階中央待合室

令和3年10月6日より感染予防およびサービス向上の観点から、自動精算機の運用を開始しました。会計方式が窓口でのご精算から自動精算機へ変更となります。

尚、操作等で、ご不明な点がございましたら、お近くの職員までお声がけください。

精算機について

- ・外来診療費のお支払いが出来ます。
- ・各種クレジットカードにも対応しております。



設置場所

- ・1階中央待合 2台

利用可能時間

- ・平日8:45~15:30

※設置台数の都合上、主に外来費用のお支払いをお願いしております。



健康保険証のオンライン資格確認の導入について

当院では、マイナンバーカードを活用し健康保険証の資格内容を確認することができる「オンライン資格確認等システム」を、令和3年10月6日(水)より運用を開始しております。

オンライン資格確認とは、マイナンバーカードのICチップもしくは健康保険証の記号番号などによりオンライン上で医療保険の資格確認をすることです。

この導入により、マイナンバーカードをお持ちの方は、窓口で保険証をご提示いただかなくても医療保険の資格確認がスムーズにできるようになりました。

マイナンバーカードをお持ちでない方は、従来どおり健康保険証をご提示ください。

また、マイナンバーカードをお持ちであれば、患者さんの同意により、保険者に申請いただかなくても、当院で限度額適用認定証等の情報が得られるようになり、限度額以上の医療費を窓口で支払う必要がなくなります。

尚、患者さんの同意により、ご自身の特定健診結果や服用している薬剤情報を医師がオンラインで閲覧できるようになり、より快適で迅速な検査や診断・治療を受けることができるようになります。

ご注意

- ・マイナンバーカードの健康保険証利用には、患者さん自身による事前登録が必要です。
- ・また、カードリーダーでの資格確認時に登録することもできます。
- ・暗証番号を一定の回数以上誤るとロックされますのでご注意ください。
- ・尚、ロックを解除するには、お住まいの市町村のマイナンバーカード担当窓口でお手続きが必要です。
- ・詳細につきましては、受付窓口職員にお声掛けください。

はあとねっと16号をお届けします。

新しい年を迎えることができました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。当院では昨年12月から「花みずきの会」によるボランティア活動が再開されました。ボランティア活動の再開を心待ちにされていた方も多かったため、感染対策を継続していきながら少しずつ活動範囲の拡大を検討しているところです。

今後も「はあとねっと」を通じて、地域の皆さまに新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていきたいと思っております。

サービス向上委員会 事務局

